

一般社団法人 国土政策研究会
事務局だより No. 130
《令和4年度臨時理事会・総会報告》

気象庁発表の「エルニーニョ監視速報」によりますと、夏にかけて「ラニーニャ現象」が続く可能性が高く、夏は記録的な豪雨や猛暑となるかもしれないとのこと。心しておきましょう。

今号は今週月曜日、5月23日に開催した臨時理事会と総会の結果をご報告いたします。

【令和4年度臨時理事会報告】

令和4年5月23日午後2時、都市計画会館に於いて令和4年度臨時理事会を開催いたしました。本年度第1回通常理事会は既に書面表決で終わっており、本臨時理事会では通常理事会の表決結果の確認ということになります。その内容は総会で審議しましたので、総会報告をご覧ください。

【令和4年度通常総会報告】

令和4年5月23日午後2時40分、都市計画会館に於いて令和4年度通常総会を開催いたしました。議題は、1号議案・令和3年度事業報告、第2号議案・令和3年度収支報告、第3号議案・財産目録、第4号議案・監査報告、第5号議案・役員改選、第6号議案・九州支部設立、報告事項①令和4年度事業計画、報告事項②令和4年度収支予算でした。

第5号議案、役員改選については、退任が伊丹淳一様、新任が阿部徹様です。伊丹さんからは理事として過ごした四半世紀を振り返り、特に建設省と運輸省との統合についてお話され、国政研で成城大学の岡田清先生や元衆議院議員の松浪健四郎先生、前会長の岩井國臣顧問、副会長の高田邦道先生などと一緒に提案したトラックドライバーの処遇改善が少しずつ前進していることを話されました。阿部徹様は元復興庁福島復興局副局長で現在シーエムエンジニアリングにお勤めですが、今回は欠席でした。

第6号議案、九州支部の開設については皆さん賛成で、支部長には田中慎一郎様を予定し、当研究会設立以来九州事務所長としてご活躍の藤本顕憲様を顧問としてお迎えすることになりました。

本年度の事業計画としては秋の東京セミナー2022、九州支部設立記念シンポジウム、建設産業研究部会報告の書籍出版、年2回の機関誌発行などを考えております。

コロナの影響で会員の退会が増えており、何事にも縛られない本会の特徴を生かして、更に魅力ある重要なテーマにより会員が増えるような協会にしましように話し合っ閉会となりました。

【講演会・交流会概要】

総会に続いて国土交通省水管理・国土保全局長、井上智夫様から「気候変動と治水」という題でご講演をいただきました。

近畿地方整備局時代、国政研とインフラメンテナンス国民会議近畿本部を立ち上げたこと、ここ10年くらい毎年一回くらい豪雨が発生しており、しかも、同じところが何回も被害を受けるケースが多いこと、毎日1000台くらいのトラックを動員して河道掘削を続けており、これは

大変な効果があること、早くやることが必要で、それが事前防災であること、それらに対応するため、流域治水の法律を作り下流から整備をするだけでなく、中・上流でも整備を進め、補助率も財務省の理解によりかさ上げできていること、観測についても浸水したら電波が止まるような発信機を随所に配置しようとしていること、昔と違って、関係各省が非常に仲良く協調してやっていること、過日、熊本で開催された第4回アジア・太平洋水サミットでも、天皇陛下の30分にわたるご講演の後、総理から日本の知恵と技術を海外に展開すべきというご提案があったこと、などを約35分かけてお話しくささいました。

4時20分からは国土交通省事務次官、山田邦博様をお迎えして交流会を開催しました。次官は「治水5か年の予算が、災害発生の多さにより進捗が早まっており、このままでは5か年計画が4ヶ年で終わりかねなく、目下交渉中です。本日は明日の知床問題の国会対策もあり直ぐに帰らせていただきますが、今後ともご支援をお願いします。これから大臣説明に参ります。ありがとうございました。」とのご挨拶でした。

続いて鈴木道雄顧問から「コロナで逼塞しておりましたが、本日は皆様にお目にかかれてうれしく思っております。次官が時間がないようですので急いで乾杯をさせていただきます。」とのお言葉で乾杯をして5時まで会員同士の交流を深めることが出来ました。



国土政策研究会事務局

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町17-17 日本橋シルバービル5階

電話：03-6231-1382 FAX：03-6231-1385

info@kokuseiken.or.jp

<http://www.kokuseiken.or.jp/>